

取扱注意

令和8年度版

捜査実務読本

警視庁刑事部

目次

擬律判断・送致早見表等

司法警察職員捜査書類簡易書式例適用対象事件一覧表	1
微罪処分対象事件一覧表	2
刑法犯等の送致罪名・罰条・公訴時効等	3
検察庁送致区分早見表	36
録音・録画制度対象事件一覧表	40
被害者等人定事項等集約報告書について	45
逮捕状に代わるもの等について	60
各種令状の請求について	84

第1章 窃盗（空き巣）事件認知後における捜査の流れ

第1 臨場に際しての配慮事項	92
1 被害認知と検挙	92
2 被害者に対する配慮	92
3 資器材の準備	93
第2 被害臨場	94
1 関係者からの事情聴取	94
2 実況見分（現場観察）	95
• 資料1 現場観察	98
• 資料2 臨場実施簿	99
3 鑑識活動	106

• 資料3 指紋検出法	108
• 資料4 鑑識眼バックナンバー目次	109
4 被害届の受理と被害連絡簿等の記載	112
• 資料5 被害連絡簿	113
• 資料6 犯罪事件受理簿	114
5 参考人からの聴取	115
• 資料7 地検連絡票	119
• 資料8 東京地方検察庁連絡先一覧表	120
• 資料9 代表者聴取実施結果等報告書	121
6 参考人供述調書の作成	122
• 資料10 呼出簿	123
7 防犯カメラ捜査	124
第3 臨場後の措置	126
1 犯罪手口照会システム（被害記録）への仮登録	126
2 主管課への報告	128
3 盗品等手配登録	128
4 被害記録の作成	132
• 資料11 被害品速報処理簿	133
• 資料12 被害品速報票	134
5 現場指紋等取扱書の作成と送付	135
6 遺留足跡等採取報告書等の作成と送付	138
• 資料13 現場指紋等取扱書	139
• 資料14 指紋等確認通知書	141
• 資料15 遺留足跡等採取報告書	142
• 資料16 遺留足跡等送付書	143

• 資料17 足跡採取要領	144
7 遺留DNA型鑑定資料の持込み	145
8 デジタルカメラで撮影した画像の取扱い等	146
9 実況見分調書の作成	147
第4 被疑者の割付け	148
1 手口捜査	148
2 的 ^ま 割り捜査	148
3 よう撃捜査	149
4 盗品等捜査	149
• 資料18 着手報告等の記載例（着手→検挙→終結）	152
• 資料19 立入調査時の確認事項	153
5 盗品等発見時の措置	154
第5 被疑者（入質者）に対する捜査	156
1 被疑者の内偵捜査	156
2 逮捕状請求の検討	157
3 被疑者の裏付捜査	159
• 資料20 事件チャート	161
第6 逮捕状の請求と発付	162
1 通常逮捕状の請求	162
2 令状請求書の作成要領	164
3 検察官に対する事前連絡	165
4 裁判所に対する事前連絡	165
5 令状請求先	165

• 資料21 逮捕状請求検討票	168
• 資料22 逮捕状請求書（甲）	169
• 資料23 逮捕状請求書（甲）謄本	170
• 資料24 誤認逮捕防止のための逮捕状請求及び 執行方針検討票	171
• 資料25 8号要件欄の記載要領	172
第7 謄本の作成要領	173
1 謄本の意義	173
2 謄本の証拠能力	173
3 謄本作成上の一般的留意事項	173
4 謄本作成要領	174
5 その他	176
第8 追跡捜査	177
1 指名手配要領	177
2 その他の手配制度	180
3 追跡捜査の徹底	181
• 資料26 指名手配（指名通報）検討票	183
第9 被疑者の逮捕から引致までの措置	184
1 被疑者の逮捕、護送	184
2 引致	187
• 資料27 被疑者取扱簿	188
3 引致を受けた司法警察員の措置	189
4 弁護人選任に関する手続	192

• 資料28 弁解録取書	197
• 資料29 別紙（解説）	199
• 資料30 弁解録取書別紙の用語解説	200
• 資料31 弁護人選任に関する申出への対応要領	201
• 資料32 被疑者国選弁護人制度対象事件連絡表	202
• 資料33 弁護人選任通知簿	203
• 資料34 私選弁護人選任申出書	204
• 資料35 ファクシミリ送信書	205
• 資料36 接見申出記録簿	206

第10 取調べ	207
1 取調べ室の選定と環境整備	207
2 被留置者の出し入れ	207
• 資料37 被留置者出入簿	208
3 被疑者取調べ	209
4 供述調書の作成	221
5 取調べ状況報告書等	222
• 資料38 取調べ状況報告書	231
• 資料39 余罪関係報告書	232
6 取調べの録音・録画	233
1 はじめに	233
2 録音・録画制度の概要（刑訴法上の義務）	233
3 精神に障害を有する被疑者に係る取調べ等の 録音・録画の概要（犯罪捜査規範上の努力義務）	234
4 実施要領（設置型録音・録画機器の場合）	235
• 資料40 被留置者出入簿	238

• 資料41 録音・録画状況報告書	239
第11 鑑識資料の作成	240
1 被疑者の写真撮影	240
2 指掌紋記録等の作成	241
3 被疑者 DNA 型鑑定資料の取扱い	243
• 資料42 口腔内細胞に係る任意提出・DNA 型鑑定 承諾・所有権放棄書	244
第12 被疑者情報等管理システムへの登録及び留置手続	245
1 被疑者取扱簿等の作成	245
2 被疑者情報等管理システムへの検挙時登録	245
3 留置手続	245
• 資料43 所持金品目録	247
• 資料44 被留置者名簿	248
第13 送致	250
1 事件送致書時の留意事項	250
2 送致書類の編てつ	251
3 送致書類の点検と事前連絡	252
4 事件の送致（付）先	256
• 資料45 送致（付）事件検討票	257
• 資料46 送致（付）書の記載要領等	258
• 資料47 犯罪の情状等に関する意見	267
5 送致票の作成要領等	268
• 資料48 事件記録証拠品送致票（甲）	271

6 犯罪統計原票の作成・入力要領	272
• 資料49 刑法犯認知情報票（乗り物盗以外）	274
• 資料50 刑法犯認知情報票（乗り物盗）	277
• 資料51 刑法犯検挙情報票（乗り物盗以外）	279
• 資料52 刑法犯検挙情報票（乗り物盗） （被害品回復を含む）	283
• 資料53 刑法犯被疑者情報票（20歳以上）	285

新件書類作成例

1 送致書	289
2 犯罪の情状等に関する意見	291
3 所持金品目録	292
4 書類目録	293
5 住居侵入、窃盗被疑事件捜査報告	295
6 通常逮捕手続書（甲）	297
7 弁解録取書	299
8 供述調書（身上関係）	301
9 供述調書（事実関係）	303
10 取調べ状況報告書	305
11 被害届	306
12 盗品発見報告書	308
13 質取てん末書	310
14 画像データ抽出・複写報告書	311
15 被害者等人定事項等集約報告書	313
16 処分結果通知書	314

第2章 窃盗(空き巣)事件送致後における捜査の流れ

第1 送致後の捜査	315
1 犯行用具の裏付け捜査	316
2 被害品処分状況の裏付け捜査	316
3 捜索差押許可状の請求と執行	316
・ 資料54 各種令状請求検討票	321
第2 関係書類の追送	322
追送書類作成例	
1 関係書類追送書	323
2 上申書(【解説】上申書について)	324
3 供述調書(身上関係)	326
4 供述調書(事実関係)	330
5 取調べ状況報告書	337
第3 余罪の取調べ	338
1 余罪捜査の進め方	338
2 余罪取調べのあり方	338
第4 証拠物件等の取扱い	340
1 証拠物件等の取扱要領	340
2 証拠物件の送致及び保管	344
3 証拠物件を送致する場合の留意事項	345

・ 資料55 本署当番等用証拠物件等引継簿	346
4 還付・仮還付	347

第5 手口記録の作成と送信等	350
1 手口記録の作成範囲及び作成基準	350
2 手口記録作成上の留意事項	351
3 手口記録作成要領	352

第3章 重要事件捜査の流れ

第1 初期捜査活動と任務	361
1 初期捜査活動の基準等	361
2 一般的な任務	363
第2 臨場	364
1 臨場員の留意事項と携行品	364
2 臨場員の活動要領	365
3 現場観察	371
第3 本部所属との連携	374
1 鑑識課	374
2 捜査支援分析センター	380
3 機動捜査隊	381
第4 捜査書類等の作成	383
1 事件チャート	383

2 被害届等	383
• 資料56 事件チャート	384
第5 防犯カメラ捜査	385
第6 逮捕状の請求	388

第4章 実況見分調書作成のポイント

第1 総論	391
1 検証調書の証拠能力	391
2 実況見分調書の証拠能力	392
3 立会人の指示説明について	392
4 書式の選択（実況見分調書）	393
第2 調書作成時の留意事項	394
1 一般的留意事項	394
2 検証調書（甲）作成時の留意事項	396
3 検証調書（乙）作成時の留意事項	404
4 実況見分調書作成時の留意事項	405
5 項目別留意事項	405
(1) 「現場の様相」の記載	405
(2) 証拠資料発見時の措置	414
(3) 見取図作成上の留意事項	414
第3 罪種別ポイント	415
1 強盗事件	415

2 窃盗事件	418
3 住居侵入事件	421
4 暴行、傷害事件	423

第4章 検証調書、実況見分調書記載例

1 検証調書（甲）	426
2 検証調書（乙）	427
3 実況見分調書	428
4 実況見分調書（甲の1）	445

第5章 供述調書作成のポイント

第1 被疑者供述調書	447
1 総論	447
2 供述調書作成の留意点	463
3 特殊な記載要領	466
(1) 図面を作成させた場合	466
(2) 証拠品等を提示した場合	468
(3) 一覧表を作成した場合	470
(4) 問答をした場合	472
(5) 重要事項を反復して確認した場合	474
(6) 被疑者が黙秘した場合	476
(7) 否認被疑者が自供した場合	478
4 供述調書の読み聞かせ及び閲覧	480
5 奥書の記載例	481
6 身上調書作成要領	489


7 事実調書作成要領	500
(1) 犯行前の行動について	500
(2) 共犯者について	503
(3) 動機、原因、目的について	505
(4) 犯罪日時について	507
(5) 犯行場所について	508
(6) 犯罪の客体について	510
(7) 犯行の手段、方法、結果について(罪種別記載のポイント)	512
ア 窃盗罪のポイント	512
イ 恐喝罪のポイント	521
ウ 強盗罪のポイント	524
エ 詐欺罪のポイント	527
オ 暴行罪、傷害罪のポイント	538
第2 参考人供述調書	541
1 総論	541
2 特殊な記載要領	547
3 写真面割り実施上の留意事項	551
4 署名、押(指)印について	554
5 奥書の記載例	556
6 調書作成のポイント	560
第3 供述調書作成例	570
1 供述調書のチェックポイント	570
• 資料57 供述調書のチェックポイント	571
2 被疑者供述調書作成例	584

(1) 身上調書(傷害事件)	585
(2) 事実調書(傷害事件)	589
(3) 事実調書(窃盗(万引き)事件)	593
(4) 事実調書(外国人被疑者)	597
3 参考人供述調書作成例	598
(1) 傷害事件(被害者)	599
(2) 傷害事件(目撃者)	606
(3) 窃盗(万引き)事件(逮捕者)	610
(4) 特殊詐欺(預貯金詐欺)事件(被害者)	619
(5) 公務執行妨害事件(被害者)	629

捜査実務読本

平成3年3月	印刷発行
平成28年3月	改訂版発行
平成29年2月	改訂版発行
平成30年2月	改訂版発行
平成31年3月	改訂版発行
令和2年3月	改訂版発行
令和3年3月	改訂版発行
令和4年3月	改訂版発行
令和5年2月	改訂版発行
令和6年3月	改訂版発行
令和7年2月	改訂版発行
令和8年2月	改訂版発行

編集 警視庁刑事部刑事総務課

印刷 

非売品